



まつ もと

じゅん

中区・磯子区・金沢区

# 松本純

## まちかど 政治瓦版



平成29年12月1日号

発行

かながわ

1区支部

発行責任者

平木 茂

12 月号

2017年

No.180

松本純ホームページ 毎日更新中! <http://www.jun.or.jp>

▶検索キーワード「松本純」

## 中小・小規模事業者の円滑な世代交代へ

### 公約実現のために 議員連盟を立ち上げ、会長に就任しました

松本純は、第48回総選挙で、「安定した政治が新しい日本を創る」と訴え、公約で「いとなみを守る。安定して生業ができる政治を続ける」とお約束させていただきました。

11月14日、この公約実現の一つとして、松本純が発起人代表となり『中小・小規模事業者の円滑な世代交代を後押しする議員連盟』を立ち上げ、会長に就任いたしました。

現在の日本の最大の問題点は「デフレと少子高齢化」であり、これが事業という側面でも大きな影を投げかけています。それは事業継承と後継者不足です。



▲中小・小規模事業者の円滑な世代交代を後押しする議員連盟の初会合にて



経済産業省の試算では、今後10年の間に、70歳（平均引退年齢）を超える経営者は約245万人となり、うち約半数の127万人（日本企業全体の約3割）が後継者未定となる可能性があり、このまま放置すれば、中小企業廃業の急増により、2025年頃まで10年間の累計で約650万人の雇用、約22兆円のGDPが失われる可能性が指摘されています。

廃業予定の企業の中にも、黒字企業が49.1%存在しており、事業承継がうまくいかなかった場合、これまで培ってきた貴重な経営資源が失われるとともに雇用と地域社会に悪影響を与える可能性が高いといえます。

そして、事業承継における最も深刻な課題の1つに、承継時に課される税負担があります。

事業に真面目に取り組んでいる経営者が事業を承継する際に、数千万～数億円の負担が生じます。問題を解決するため、政府と与党は相続税などの納税猶予を受けられる「事業承継税制」を抜本的に見直し、拡充する方向で調整に入り、事業承継を集中支援する方針を固めました。

そして、これは12月にまとまる『平成30年度税制改正大綱』に組み込まれる予定になっています。

議員連盟としても、様々な関係団体からヒアリングを実施し、有権者の声として政策に取り込んでいただけるよう最大限の努力をしていきます。

すでに、議員連盟の設立総会で、田中常雅・日本商工会議所税制委員会委員長からの説明聴取をしており、設立総会に参加いただいた乾敏一・全国商工会連合会専務理事、高橋晴樹・全国中小企業団体中央会専務理事などからも意見を伺い、二度目の会合で意見の取りまとめを行い政府、自民党に提言しました。この議員連盟での活動は今始まったばかりです。今後も皆様の生業を守るために尽力させていただきたいと思います。

いま地域で  
(人・まち・出来事)**夢つなぐ少年野球の交流戦**

中区少年野球連盟 会長 高橋 善春さん（中区）



中区の少年野球のメンバーたち

中区少年野球連盟は1970年創立の少年野球連盟で、会長の高橋善春さんは6代目会長です。毎年各種大会や2度の新人戦など試合運営を中心に、野球を通じた子供たちの成長に大きく貢献しています。特に注目を集めているのが、地域を超えた他都市との交流試合活動です。

横浜DeNAベイスターズの協力でキャンプ地・沖縄宜野湾市の少年野球連盟との交流が始まったのが2003年。以来、毎年相互訪問する交流戦が続いています。また2011年3月11日、東日本大震災が起きた時、被災地の子供たちに活躍の場をと、岩手県宮古市の少年野球チーム「磯鷄バッファローズ」を被災した年の「海の日」に中区に招待したのがきっかけとなり、その交流戦は毎年、横浜での「海の日」恒例試合へ発展。7回目を迎えた今年は、高橋さんが副会長を務める本牧大里町内会の協力で町内会館に宿泊してもらう等、地域をあげての交流へと広がっています。「野球が子供たちの豊かな夢を育むきっかけになれば」と、少年たちの成長をあたたかく見守る高橋会長です。

[2017年11月]

松  
本  
議  
員  
の  
活  
動  
記  
録

- 1日●本会議(首班指名選挙他)
- 2日●国会対策委員会
- 4日●衆参与国民党
- 8日●社会保障制度に関する特命委員会・役員会
  - 横浜市幹線道路網建設促進協議会要望/財務大臣室
  - 第195回特別国会開会式
- 9日●国税職員の定員確保等に関する要請活動/財務省
- 10日●自民党・立憲民主党国対委員長会談

- 13日●第9回医薬の明日を語る会
  - 自民党横浜市連パーティー2017感謝の集い
- 14日●中小・小規模事業者の円滑な世代交代を後押しする議員連盟設立総会
  - 民進党新役員挨拶
- 15日●議院運営委員会与党理事懇談会
- 17日●維新国対委員長ら面談
  - 希望の党新役員挨拶



11/3 さくら会(旧すみき会)創立30周年を祝う会 ●黒川澄夫元横浜市議と黒川勝市議を支え続けてきた女性応援団、さくら会(旧すみき会)の創立30周年を祝う会にお招きいただき、お祝いを申し上げました。



11/5 金沢まごころの会主催ボウリング大会開会式 ●高橋のりみ市議が理事長を務める「金沢まごころの会」ボウリング大会で「私も(国政で)頑張ります」とご挨拶しました。



11/5 第12回磯子区民綱引き大会 ●関勝則市議が大会会長を務める磯子区民綱引き大会で、参加者の皆様のパワーと元気いっぱいの児童たちの横浜オーブンジュニア綱引き大会に力づけられました。



11/18 島峰隆・富士代お二人の米寿を祝う会 ●市会議員の頃から大変お世話になっているご夫妻が元気に米寿を迎えられ、島峰隆氏から感謝の言葉が述べられました。益々お元気にご活躍されますよう！

永田町日記

**国会の質疑時間が大きく変わります****国会対策委員長代理に就任して**

松本純が国会対策委員長代理に就任して、間もなく3ヶ月になろうとしています。そんな中、目下、重要な課題に取り組んでいます。

国会の質疑時間が大きく変わります。これまで野党8割、与党2割であった質問時間を、基本的に与党5割、野党5割に戻すことになりました。国会のルールである衆議院先例集では、討議の時間は議席に応じるといいます。その上で議院運営委員会にその按分をさせる形になっています。現在、衆議院の議席配分は与党会派約7割、野党会派約3割です。この状況で、野党8割のままでは、与党の国会議員一人あたりの質問時間がないに等しいわけです。特に党内の若手から強い不満も出ていました。そして、これは憲法と議会制民主主義への冒瀧とも言えるわけです。このため、是正の動きが出てきたわけです。

この話し合いを行うのが国会対策委員会です。国会対策委員長代理という仕事は、国会調整の要の役割であり、自民党内と他の政党の国会対策委員会との間を取り持ち、日ごろから連携と連絡を密にとりながら、折衝や話し合いを行う職務です。こうした議論を取りまとめるのが私の仕事です。